

# Be ambitious!

## 一步先へ ～'24年度同時改定を力に変えるために～

2024年6月28(金)・29日(土) 会場：かでの2.7

改定で、様々な難問が突き付けられました。  
変革を求められる今、明日のデイ・ケアのために  
札幌で変革のためのヒントをつかみましょう。



### 特別講演 介護報酬改定、どうなるデイ・ケア

上田 貴代先生から「デイ・ケアのこれからと期待」をお話ししてもらいます。超高齢社会の進展、人口減に直面する国の政策では医療費・介護費用を抑えることが必須です。デイ・ケアの生き残り戦術を読み解いていきましょう。

### 特別企画1 患者さんのアドヒアランスを上げるために

アドヒアランスを高める手法を学べるように2つの教育講演を準備しました。

- 1) 竹林 崇先生による上肢活用アプローチとしてのトランスファーパッケージの活用
- 2) 石垣 智也先生による下肢活用アプローチとしての行動変容技法の活用

この2つを学べば、患者さんの「活動」向上への日々のアプローチが変わります。必見です。

※アドヒアランス：患者が治療方針の決定に賛同し、積極的に治療を受けること

### 特別企画2 デイ・ケアは地域リハの旗艦になれるか

先達の浜村・斉藤両先生の地域へのおもいを学び、そこからのデイ・ケアの在り方を参加者と一緒に議論していきたいと思えます。外来をしていない回復期リハ病棟も増えてきました。地域に開かれているデイ・ケアが今後大きな役割を占めていくと考えます。

### 特別企画3 ICFのポジティブ思考を「参加」への原動力に！！

皆さん、ICFを十分活用していますか？ この企画では日本で一番のICFスペシャリストである北海道大学の向野 雅彦教授にICFのポジティブ思考の基調講演をいただき、PT/OT/STの現場での実践を通じた症例から「参加」につなぐアプローチを学んでいきます。大いに参考になるシンポジウムにしています

### 特別企画4 認知症の人との接し方、ユマニチュード技法の有効性を学ぶ・・・

ユマニチュード技法は、認知症の方と接して困惑した時に活用できる、なくてはならぬ技法です。ユマニチュード学会の理事であり、心理・応用コミュニケーション学の権威でもある大島 寿美子先生の講演は明日から実践で役に立つ講演です。目からうろこです。是非、聴講してください。

#### 《主要プログラム確定版》

##### 1日目 6月28日(金)

- ・大会長講演：地域リハビリテーションの実践  
摂食嚥下・口腔から認知症へ／札幌から桑園地区へ  
橋本 茂樹 札幌溪仁会リハビリテーション病院 院長
- ・協会長講演：デイ・ケアの今とこれから ー改定を受けてどう変わるべきかー  
近藤 国嗣 東京湾岸リハビリテーション病院 院長
- ・特別講演Ⅰ：令和6年度介護報酬改定のポイント-リハビリテーションを中心に-  
上田 貴代 厚生労働省 老健局老人保健課 高齢者リハビリテーション推進官
- ・特別講演Ⅱ：デイ・ケアは地域リハビリテーションの旗艦になり得るか!?  
鼎談・・・リハビリテーションにかけた先人達から学ぶ  
浜村 明德:地域リハビリテーションの過去・現在・未来、  
医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 名誉院長  
斉藤 正身:超高齢化が進む中での病院と地域活動の連携  
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長
- ・教育講演Ⅰ：認知症の人への接し方・・・ユマニチュードの技法とは!!  
大島 寿美子 北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授  
日本ユマニチュード学会理事
- ・教育講演Ⅱ：生活期の効果ある上肢リハ・・・アドヒアランスを上げることの重要性  
竹林 崇 大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻  
医学部リハビリテーション学科 教授
- ・老健事業報告 染谷 和久 医療法人 真正会 霞ヶ関南病院情報戦略室 室長

##### 2日目 6月29日(土)

- ・教育講演Ⅲ：デイ・ケアにおける送迎業務の法的課題  
鈴木 雄介 鈴木法律事務所/全国デイ・ケア協会 顧問
- ・教育講演Ⅳ：在宅生活維持に重要なデイ・ケアでの口腔・栄養・リハの三位一体アプローチ  
佐々木 淳 医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長
- ・教育講演Ⅴ：セルフマネジメントに役立つ行動変容技法の活用法  
石垣 智也 名古屋学院大学リハビリテーション学部 理学療法学科
- ・シンポジウム1：在宅での「参加」を意識したデイ・ケアにおけるICF活用の再考  
～ICFポジティブ思考をどう活用するか～  
基調講演：向野 雅彦 北海道大学医学部リハビリテーション部 教授  
シンポジスト1：OT 堀 翔平 札幌溪仁会リハビリテーション病院  
シンポジスト2：ST 塩原大輝 霞ヶ関南病院  
シンポジスト3：PT 岩淵 隆俊 介護老人保健施設せんだんの丘
- ・シンポジウム2：認定デイケアマスター・在宅リハEGコース修了者の実践報告  
研修認定委員会企画  
実践報告①「管理者として事業所の質を高める取り組み  
在宅支援リハビリテーションセンターぎんや 作業療法士 佐藤 公紀  
実践報告②「管理栄養士として現場業務での取り組み」  
介護老人保健施設いるかの家リハビリテーションセンター 管理栄養士 三宅麻絵  
実践報告③「認定デイ・ケアマスターとして、在宅リハEGコースを受講し  
自身の業務に活かしていること～より良いチーム作りを目指して～」  
いしかわ内科 理学療法士 野崎 隆司